(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)公表番号
特表2024-532048
(P2024-532048A)
(43)公表日　令和6年9月5日(2024.9.5)

(51)国際特許分類		FI		テーマコード（参考）
Ａ２４Ｄ	*1/20 (2020.01)*	Ａ２４Ｄ	1/20	４Ｂ０４５
Ａ２４Ｆ	*40/46 (2020.01)*	Ａ２４Ｆ	40/46	４Ｂ１６２
Ａ２４Ｆ	*40/42 (2020.01)*	Ａ２４Ｆ	40/42	

審査請求　未請求　予備審査請求　未請求　（全17頁）

(21)出願番号　特願2023-579355(P2023-579355)
(86)(22)出願日　令和4年8月29日(2022.8.29)
(85)翻訳文提出日　令和6年2月21日(2024.2.21)
(86)国際出願番号　PCT/EP2022/073925
(87)国際公開番号　WO2023/031106
(87)国際公開日　令和5年3月9日(2023.3.9)
(31)優先権主張番号　21193967.3
(32)優先日　令和3年8月31日(2021.8.31)
(33)優先権主張国・地域又は機関
欧州特許庁(EP)
(81)指定国・地域　AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,
最終頁に続く

(71)出願人　516004949
ジェイティー インターナショナル エスエイ
スイス国 １２０２ ジュネーヴ， ルー カゼム ラジャヴィ ８
８，ｒｕｅ Ｋａｚｅｍ Ｒａｄｊａｖｉ，１２０２ Ｇｅｎｅｖａ，ＳＷＩＴＺＥＲＬＡＮＤ
(74)代理人　110003281
弁理士法人大塚国際特許事務所
(72)発明者　ライト， アレク
イギリス国 ジーユー２ ７エスユー サリー州 ギルフォード， レイモンド クレセント ４１
(72)発明者　ローガン， アンドリュー ロバート ジ
最終頁に続く

(54)【発明の名称】　第１の隙間と第２の隙間とを備える板状のタバコ物品、並びに関連するエアロゾル生成デバイス及びアセンブリ

(57)【要約】
本発明は、エアロゾル生成デバイスと共に動作し、物品軸（Ｘ）に沿って口側端（２０）と当接端（１８）との間に延びるように構成された板状のタバコ物品であって、口側端（２０）に隣接するマウスピース部分（１６）と、当接端（１８）に隣接するタバコ部分（１５）とを備える、板状のタバコ物品に関し、タバコ部分（１５）は、２つの反対側の側面を形成する基材層（３０）と、内部表面を形成するラッパー（２１）であって、内部表面は、基材層（３０）の側面の一方との間で第１の隙間（３１）を形成し、基材層（３０）の側面の他方との間で第２の隙間（３２）を形成するように、基材層（３０）の周りに配置された、ラッパー（２１）と、を備え、第１の隙間（３１）及び第２の隙間（３２）の各々は、エアロゾル生成デバイスの加熱ブレードを収容するように適合されている。

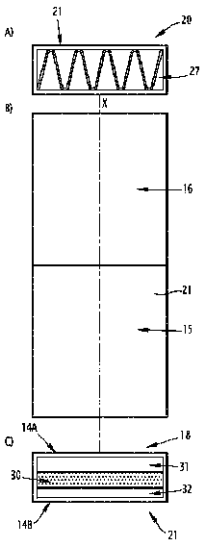


FIG.3

【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアロゾル生成デバイス（１１）と共に動作し、物品軸（Ｘ）に沿って口側端（２０）と当接端（１８）との間に延びるように構成された板状のタバコ物品（１２）であって、前記タバコ物品（１２）は、前記口側端（２０）に隣接するマウスピース部分（１６）と、前記当接端（１８）に隣接するタバコ部分（１５）とを備え、
前記タバコ部分（１５）は、
－前記物品軸（Ｘ）に沿って延び、２つの反対側の側面を形成する基材層（３０）と、
－内部表面を形成するラッパー（２１）であって、前記内部表面は、前記基材層（３０）の前記側面の一方との間で第１の隙間（３１）を形成し、前記基材層（３０）の前記側面の他方との間で第２の隙間（３２）を形成するように、前記基材層（３０）の周りに配置された、ラッパー（２１）と
を備え、
前記第１の隙間（３１）及び前記第２の隙間（３２）の各々は、前記エアロゾル生成デバイス（１１）の加熱ブレード（６２）を収容するように適合されている、板状のタバコ物品（１２）。
【請求項２】
前記第１の隙間（３１）は、前記第２の隙間（３２）よりも厚い、請求項１に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項３】
前記第２の隙間（３２）は、前記加熱ブレード（６２）が前記基材層（３０）の対応する前記側面に接触するように、前記エアロゾル生成デバイス（１１）の前記加熱ブレード（６２）を収容するように適合されている、請求項２に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項４】
前記第１の隙間（３１）は、前記加熱ブレード（６２）が前記基材層（３０）の対応する前記側面から間隔を空けるように、前記エアロゾル生成デバイス（１１）の前記加熱ブレード（６２）を収容するように適合されている、請求項２又は３に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項５】
前記マウスピース部分（１６）は、コア（２７）と、内部表面を形成するラッパー（２１）であって、前記内部表面の全体が前記コア（２７）に接触するように前記コア（２７）の周りに配置された、ラッパー（２１）とを備える、請求項１～４のいずれか一項に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項６】
前記マウスピース部分（１６）の前記ラッパー（２１）と、前記タバコ部分（１５）の前記ラッパー（２１）とは、同じ包装シートにより形成される、請求項５に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項７】
前記コア（２７）は、波形紙を含む、請求項５又は６に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項８】
前記ラッパー（２１）は、紙から作製される、請求項１～７のいずれか一項に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項９】
前記エアロゾル生成デバイス（１１）の前記加熱ブレード（６２）を収容するように適合された２つの隙間のみを定め、前記２つの隙間は、前記第１の隙間（３１）及び前記第２の隙間（３２）である、請求項１～８のいずれか一項に記載の板状のタバコ物品（１２）。
【請求項１０】

デバイス軸（Ｙ）に沿って閉鎖端と開口部（６０）との間に沿って延びる加熱チャンバ（５０）を備えるエアロゾル生成デバイス（１１）であって、
前記加熱チャンバ（５０）は、前記開口部（６０）を通して請求項１～９のいずれか一項に記載の板状のタバコ物品（１２）を収容するように構成され、前記閉鎖端から延びる加熱ブレード（６２）であって、前記板状のタバコ物品の挿入の向きに応じて、前記板状のタバコ物品（１２）の前記第１の隙間（３１）又は前記板状のタバコ物品（１２）の前記第２の隙間（３２）に収容されるように構成された、加熱ブレード（６２）を備える、エアロゾル生成デバイス（１１）。
【請求項１１】
前記加熱ブレード（６２）は、前記加熱ブレード（６２）が前記板状のタバコ物品（１２）の前記第２の隙間（３２）に収容されているときは伝導加熱によって、及び前記加熱ブレード（６２）が前記板状のタバコ物品（１２）の前記第１の隙間（３１）に収容されているときは対流加熱によって、前記基材層（３０）を加熱するように適合されている、請求項１０に記載のエアロゾル生成デバイス（１１）。
【請求項１２】
前記加熱ブレード（６２）は、２つの反対側の側面を形成し、前記側面のうちの一方に配置された加熱要素（６４）を備え、
前記加熱要素（６４）は、前記加熱ブレード（６２）が前記板状のタバコ物品（１２）の前記第２の隙間（３２）に収容されたときに前記基材層（３０）に接触し、前記加熱ブレード（６２）が前記板状のタバコ物品（１２）の前記第１の隙間（３１）に収容されたときに前記基材層（３０）から間隔を空けるように構成されている、請求項１０又は１１に記載のエアロゾル生成デバイス（１１）。
【請求項１３】
前記加熱チャンバ（５０）は、前記デバイス軸（Ｙ）に沿って延びる２つの平行な対向する壁（５４Ａ、５４Ｂ）を備え、前記加熱ブレード（６２）は、前記壁までの等しくない距離を有して前記対向する壁（５４Ａ、５４Ｂ）に平行に延びている、請求項１０～１２のいずれか一項に記載のエアロゾル生成デバイス（１１）。
【請求項１４】
前記加熱ブレード（６２）は、前記対向する壁（５４Ａ、５４Ｂ）のうちの一方と、前記対向する壁（５４Ａ、５４Ｂ）の間の中間距離に配置された平面との間に延びている、請求項１３に記載のエアロゾル生成デバイス（１１）。
【請求項１５】
請求項１～９のいずれか一項に記載の板状のタバコ物品（１２）と、
請求項１０～１４のいずれか一項に記載のエアロゾル生成デバイス（１１）と
を備える、エアロゾル生成アセンブリ（１０）。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は第１の隙間及び第２の隙間を備える板状のタバコ物品に関する。本発明はまた、そのような物品に関連するエアロゾル生成デバイス及びエアロゾル生成アセンブリに関する。
【０００２】
具体的には、本発明によるエアロゾル生成デバイスは、例えば、加熱時にエアロゾルを形成できる固体基材を備える本発明による板状のタバコ物品と共に動作するように構成されている。したがって、加熱非燃焼式デバイスとしても知られるこのようなタイプのエアロゾル生成デバイスは、伝導、対流、及び／又は放射により、基材を燃やすのではなく加熱して、吸入用のエアロゾルを生成するように適合されている。
【背景技術】
【０００３】
（気化器としても知られる）リスク低減デバイス又はリスク修正デバイスの人気及び使

用は、紙巻きタバコ、葉巻、シガリロ、及び巻きタバコなどの従来のタバコ製品の喫煙を止めたいと望む常習的喫煙者を支援するための補助として、ここ数年で急速に高まっている。従来のタバコ製品においてタバコを燃焼させるのとは対照的に、気化可能物質を加熱又は加温する様々なデバイス及びシステムが利用可能である。

【０００４】

一般的に入手可能なリスク低減デバイス又はリスク修正デバイスは、基材加熱式エアロゾル生成デバイス又は加熱非燃焼式デバイスである。このタイプのデバイスは、典型的には、湿った葉タバコ又は他の好適な気化可能材料を含むエアロゾル基材を典型的には１５０℃～３５０℃の範囲の温度に加熱することにより、エアロゾル又は蒸気を生成する。エアロゾル基材を、燃焼させるか又は燃やすのではなく、加熱することにより、ユーザが求める成分を含むが、燃焼及び燃やすことによる毒性及び発癌性のある副生成物を含まないエアロゾルが放出される。更には、タバコ又は他の気化可能材料を加熱することによって生成されるエアロゾルは、典型的には、ユーザにとって不快となり得る、燃焼及び燃やすことに起因する焦げた味又は苦味を含まない。したがって、基材は、煙及び／又は蒸気をユーザにとってより口当たりのよいものにするためにそのような材料に典型的に添加される糖及び他の添加物を必要としない。

【０００５】

そのようなタイプのエアロゾル生成デバイスと共に使用可能なタバコ物品は、様々な形をとることができる。それらのいくつかが、細長いスティック、又は例えば板状形状のような任意の他の好適な形状を呈することができる。しかしながら、タバコ物品の設計は、多くの場合、その美的価値と加熱効率との間のトレードオフである。

【０００６】

具体的には、板状のタバコ物品の場合、一般に、そのタバコ部分を紙で包んで、サンプルを消費者にとってより魅力的にすることが必要である。しかしながら、外部から加熱された場合、紙は熱障壁として機能し、したがってデバイスの潜在的効率は低下する。加えて、このようなタバコ物品は非常に薄い（例えば１ｍｍ）ので、例えばタバコスティックのために使用されるような内部加熱は、挑戦的でもある。

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【０００７】

本発明の目的の１つは、加熱効率が増加された板状のタバコ物品を提供することである。

【０００８】

この目的のため、本発明は、エアロゾル生成デバイスと共に動作し、物品軸に沿って口側端と当接端との間に延びるように構成された板状のタバコ物品であって、口側端に隣接するマウスピース部分と、当接端に隣接するタバコ部分とを備える、板状のタバコ物品に関し、

タバコ部分は、

－物品軸に沿って延び、２つの反対側の側面を形成する基材層と、

－内部表面を形成するラッパーであって、内部表面が、基材層の側面の一方との間で第１の隙間を形成し、基材層の側面の他方との間で第２の隙間を形成するように、基材層の周りに配置された、ラッパーと

を備え、

第１の隙間及び第２の隙間の各々は、エアロゾル生成デバイスの加熱ブレードを収容するように適合されている。

【０００９】

これら特徴のおかげで、基材層とラッパーとの間に設けられる隙間の各々が、エアロゾル生成デバイスの加熱ブレードを収容することができる。したがって、基材層の内側での内部加熱又はラッパーを介する外部加熱を確実にする必要がない。したがって、加熱効率を単純且つ実用的な形で増加させることができる。

【００１０】
いくつかの実施形態によれば、第１の隙間は第２の隙間よりも厚い。
【００１１】
いくつかの実施形態によれば、第２の隙間は、加熱ブレードが基材層の対応する側面に接触するように、エアロゾル生成デバイスの加熱ブレードを収容するように適合されている。
【００１２】
これら特徴のおかげで、加熱ブレードから基材層に直接、すなわち伝導によって熱を伝達させることにより、基材層を確実に加熱することが可能である。
【００１３】
いくつかの実施形態によれば、第１の隙間は、加熱ブレードが基材層の対応する側面から間隔を空けるように、エアロゾル生成デバイスの加熱ブレードを収容するように適合されている。
【００１４】
これら特徴のおかげで、加熱ブレードから基材層に空隙を介して熱を伝達させることにより、基材層を確実に加熱することが可能である。したがって、加熱は対流によって実施される。したがって、第１及び第２の隙間が異なる厚さを有する場合、ユーザは、最適な加熱、すなわち伝導又は対流による加熱を選択することができる。ユーザの選択は、ユーザ自身の嗜好／選好に応じて、又は、例えば基材層の性質に応じて行うことができる。例えば、あるタイプの基材層は、加熱タイプ又は温度に基づいて異なって作用するエアロゾル形成剤を含んでもよい。
【００１５】
いくつかの実施形態によれば、マウスピース部分は、コアと、内部表面を形成するラッパーであって、内部表面の全体がコアに接触するようにコアの周りに配置された、ラッパーとを備える。
【００１６】
これら特徴のおかげで、マウスピース部分には隙間が形成されない。したがって、マウスピース部分がフィルタ及び／又は冷却器を形成する場合、タバコ部分で形成されたフローは、ユーザの口／唇に達する前に完全にフィルタ処理される及び／又は少なくとも僅かに冷却されることができる。
【００１７】
いくつかの実施形態によれば、マウスピース部分のラッパーと、タバコ部分のラッパーとは、同じ包装シートにより形成されている。
【００１８】
これら特徴のおかげで、タバコ部分及びマウスピース部分を一緒に組み立てることができる。
【００１９】
いくつかの実施形態によれば、コアは波形紙を含む。
【００２０】
これら特徴のおかげで、マウスピース部分のフィルタ及び／又は冷却効果を実現することができる。
【００２１】
いくつかの実施形態によれば、ラッパーは紙から作製される。
【００２２】
これら特徴のおかげで、タバコ物品のコストを削減しながら、所望の設計を維持することができる。
【００２３】
いくつかの実施形態によれば、ラッパーの内部表面は、単一の包装シートにより定められる。例えば、単一の包装シートは、内部表面が４つの部分を備えるように曲げられてもよい。具体的には、内部表面の１つの部分が、基材層の側面のうちの一方との間で第１の

隙間を形成してもよく、内部表面の別の部分が、基材層の他方の側面との間で第２の隙間を形成してもよい。

【００２４】

いくつかの実施形態によれば、基材層の側面のうちの一方との間で第１の隙間を形成する内部表面の部分は、この側面の全領域にわたって基材層のこの側面に面している。加えて、例えば、基材層の側面のうちの他方との間で第２の隙間を形成する内部表面の部分は、この側面の全領域にわたって基材層のこの側面に面している。

【００２５】

いくつかの実施形態によれば、ラッパーの内部表面との間で第１の隙間を形成する基材層の側面が、第１の基材表面を定める。第１の基材表面は、例えば、１つの単一平面内で延びている。いくつかの実施形態によれば、ラッパーの内部表面との間で第２の隙間を形成する基材層の側面が、第２の基材表面を定める。第２の基材表面は、例えば１つの単一平面内で延び、この平面は、例えば第１の基材表面が延びる平面とは異なる。

【００２６】

いくつかの実施形態によれば、第１の基材表面及び／又は第２の基材表面は、物品軸に沿って実質的にタバコ部分の全長に沿って延びており、及び／又はラッパーの内部表面によって範囲が定められる全幅に沿って横方向に物品軸まで延びている。

【００２７】

いくつかの実施形態によれば、第１の基材表面及び／又は第２の基材表面は、対応する基材表面との間でそれぞれ第１の隙間又は第２の隙間を定める、ラッパーの内部表面の部分と同じ領域サイズを有する。

【００２８】

いくつかの実施形態によれば、第１の基材表面及び／又は第２の基材表面は、対応する基材表面との間でそれぞれ第１の隙間又は第２の隙間を定めるラッパーの内部表面の対応する部分が延びる平面に対して実質的に平行な平面内で延びている。

【００２９】

いくつかの実施形態によれば、板状のタバコ物品は、エアロゾル生成デバイスの加熱ブレードを収容するように適合された２つだけの隙間を定め、２つの隙間は、第１の隙間及び第２の隙間である。

【００３０】

本発明は、上述したような板状のタバコ物品を収容するように構成されたエアロゾル生成デバイスであって、板状のタバコ物品の第１の隙間及び／又は第２の隙間に収容されるように構成された加熱ブレードを備える、エアロゾル生成デバイスにも関する。

【００３１】

本発明はまた、デバイス軸に沿って閉鎖端と開口部との間に沿って延びる加熱チャンバを備えるエアロゾル生成デバイスであって、

加熱チャンバは、開口部を通して、上述したような板状のタバコ物品を収容するように構成されており、その閉鎖端から延びる加熱ブレードであって、板状のタバコ物品の挿入の向きに応じて板状のタバコ物品の第１の隙間又は板状のタバコ物品の第２の隙間に収容されるように構成された加熱ブレードを備える、エアロゾル生成デバイスに関する。

【００３２】

これら特徴のおかげで、加熱ブレードは、物品内に形成された隙間のうちの１つに収容されることができる。

【００３３】

いくつかの実施形態によれば、加熱ブレードは、加熱ブレードが板状のタバコ物品の第２の隙間に収容されているときは伝導加熱によって、及び加熱ブレードが板状のタバコ物品の第１の隙間に収容されているときは対流加熱によって、基材層を加熱するように適合されている。

【００３４】

いくつかの実施形態によれば、加熱ブレードは、２つの反対側の側面を形成し、側面の

うちの一方に配置された加熱要素を備え、
加熱要素は、加熱ブレードが板状のタバコ物品の第２の隙間に収容されたときに基材層に接触し、加熱ブレードが板状のタバコ物品の第１の隙間に収容されたときに基材層から間隔を空けるように構成されている。
【００３５】
これら特徴のおかげで、同じエアロゾル生成デバイスにより、２つの異なる加熱タイプを確実にすることができる。前述したように、加熱タイプは、ユーザによって単に加熱チャンバ内でのタバコ物品の向きを変えることによって選択できる。
【００３６】
いくつかの実施形態によれば、加熱チャンバは、デバイス軸に沿って延びる２つの平行な対向する壁を備え、加熱ブレードは、壁までの等しくない距離を有して対向する壁に平行に延びている。
【００３７】
いくつかの実施形態によれば、加熱ブレードは、前記対向する壁のうちの一方と、対向する壁の間の中間距離に配置された平面との間に延びている。
【００３８】
これら特徴のおかげで、加熱ブレードは、挿入中に追加の調整をすることなく、ユーザによって選択された隙間に収容されることができる。具体的には、加熱チャンバの壁は、加熱ブレード用のガイド手段として機能することができる。
【００３９】
本発明は、
－上述したような板状のタバコ物品と、
－上述したようなエアロゾル生成デバイスと
を備えるエアロゾル生成アセンブリにも関する。
【図面の簡単な説明】
【００４０】
本発明及びその利点は、以下の説明を読むことでよりよく理解されるであろう。以下の説明は、単なる非限定的な例として挙げられ、添付の図面を参照して記述される。
【００４１】
【図１】本発明によるエアロゾル生成アセンブリの斜視図であり、エアロゾル生成アセンブリは、本発明によるエアロゾル生成デバイスと、本発明による板状のタバコ物品とを備え、板状のタバコ物品は、エアロゾル生成デバイスと共に使用可能である。
【図２】図１の板状のタバコ物品の斜視図である。
【図３】図２の板状のタバコ物品の異なる図である（Ａ：上面図、Ｂ：正面図、Ｃ：底面図）。
【図４】図１のエアロゾル生成デバイスに組み込まれた加熱チャンバの異なる図である（Ａ：正面図、Ｂ：側面図）。
【図５】２つの異なる方向に従って図４の加熱チャンバ内に挿入された図２の板状のタバコ物品の側面図である。
【発明を実施するための形態】
【００４２】
本発明について説明する前に、本発明は、以下の説明で記述される構造の詳細に限定されないことを理解されたい。本発明は、他の実施形態が可能であり、様々な方法で実践又は実行されることが、本開示の利益を享受する当業者に明らかであろう。
【００４３】
本明細書で使用する場合、「エアロゾル生成デバイス」又は「デバイス」という用語は、以下に更に詳細に説明するヒータ要素を用いて、ベイピング用のエアロゾルを含むエアロゾルをユーザに送達するためのベイピングデバイスを含み得る。このデバイスは、携帯用であり得る。「携帯用」とは、ユーザが保持して使用するデバイスを指し得る。デバイスは、例えば、可変の時間量にわたってヒータ要素を作動させることにより、（定量のエ

アロゾルとは対照的に）可変量のエアロゾルを生成させるように適合されてもよく、その生成は、トリガによって制御することができる。トリガは、ベイピングボタン及び／又は吸入センサなど、ユーザが作動させるものであり得る。吸入センサは、（タバコ、葉巻、又はパイプなどの従来の可燃性喫煙物品の喫煙効果を模倣するように）可変量の蒸気を提供することを可能にするために、吸入強度及び吸入持続時間に対する感度が高いものであってもよい。デバイスは、ヒータ及び／又は加熱されたエアロゾル生成物質（エアロゾル前駆体）の温度を特定の目標温度まで駆動し、その後、その温度をエアロゾルの効率的な生成を可能にする目標温度に維持するための温度調節制御部を含み得る。

【００４４】

本明細書で使用する場合、「エアロゾル」という用語は、固体粒子、液滴、気体のうちの１つ以上として気化可能材料の浮遊物を含み得る。この浮遊物は、空気を含む気体中に存在することができる。本明細書におけるエアロゾルは、一般に、蒸気を指し得る／含み得る。エアロゾルは、気化可能材料の１つ以上の成分を含み得る。

【００４５】

本明細書で使用する場合、「気化可能材料」又は「前駆体」という用語は、例えば、ニコチン又はタバコと、エアロゾル形成剤とを含み得る喫煙可能材料を指し得る。タバコは、刻みタバコ、粒状タバコ、タバコ葉及び／又は再構成タバコなどの様々な材料の形態を取り得る。適切なエアロゾル形成剤として、ポリオール（例えば、ソルビトール、グリセロール及びプロピレングリコール又はトリエチレングリコールなどのグリコール）、非ポリオール（例えば、一価アルコール、乳酸などの酸、グリセロール誘導体、トリアセチン、トリエチレングリコールジアセテート、クエン酸トリエチルなどのエステル、グリセリン又は植物性グリセリン）が挙げられる。いくつかの実施形態では、エアロゾル生成剤は、グリセロール、プロピレングリコール又はグリセロールとプロピレングリコールとの混合物であり得る。基材は、ゲル化剤、結合剤、安定化剤及び保湿剤のうちの少なくとも１つを含み得る。

【００４６】

図１は、エアロゾル生成デバイス１１と、以下ではタバコ物品１２と称される板状のタバコ物品１２とを備えるエアロゾル生成アセンブリ１０を示す。エアロゾル生成デバイス１１は、図２及び図３に更に詳細に示す板状のタバコ物品１２と共に動作するように意図されている。

【００４７】

図２を参照すると、タバコ物品１２は、例えば、物品軸Ｘに沿って延び、外部寸法Ｌ×Ｗ×Ｄを有する板状の直方体である。典型的な例では、物品軸Ｘに沿った物品１２の長さＬは、実質的に３３ｍｍに等しい一方で、その幅Ｗ及び深さＤはそれぞれ実質的に１２ｍｍ及び１．２ｍｍに等しい。別の例によれば、値Ｌ、Ｗ及びＤは、例えば、±４０％の範囲内で選択することができる。タバコ物品１２の深さＤは、以下では狭い壁１３Ａ、１３Ｂと称される一対の平行壁１３Ａ、１３Ｂにより形成され、基材の幅Ｗは、以下では広い壁１４Ａ、１４Ｂと称される一対の平行壁１４Ａ、１４Ｂにより形成される。いくつかの実施形態では、広い壁及び狭い壁１３Ａ、１３Ｂ、１４Ａ、１４Ｂの間の縁部は丸みを帯びていてもよい。本発明の他の実施形態によれば、タバコ物品１２は、任意の他の適切な形状及び／又は外部寸法を有することができる。

【００４８】

タバコ物品１２は、タバコ部分１５と、物品軸Ｘに沿って配置されたマウスピース部分１６とを備える。例えば、タバコ部分１５は、マウスピース部分１６よりも僅かに長くてもよい。例えば、物品軸Ｘに沿ったタバコ部分１５の長さＬ２は、実質的に１８ｍｍに等しくてもよく、物品軸Ｘに沿ったマウスピース部分１６の長さＬ１は、実質的に１５ｍｍに等しくてもよい。タバコ部分１５は、物品１２の当接端１８を定め、マウスピース部分１６は、物品１２の口側端２０を定める。タバコ部分１５及びマウスピース部分１６は、基材軸Ｘの周りに延びるラッパー２１により互いに固定されてもよい。ラッパー２１は、タバコ物品１２の狭い壁及び広い壁１３Ａ、１３Ｂ、１４Ａ、１４Ｂを形成する。いくつ

かの実施形態では、ラッパー２１は、同じ包装シートから形成される。例えば、狭い壁及び広い壁１３Ａ、１３Ｂ、１４Ａ、１４Ｂは同じ包装シートにより形成され、この包装シートは、特に、これらの壁を形成するように曲げられる。いくつかの他の実施形態では、ラッパー２１は、部分１５、１６を別々に包装し任意の他の適切な手段により互いに固定される別々の包装シートによって形成される。ラッパー２１は、例えば、紙、及び／又は不織布、及び／又はアルミニウム箔を含んでもよい。ラッパー２１は、多孔質又は空気不透過性であってもよく、物品１２の内側で当接端１８と口側端２０との間を延びる複数の空気流通路を形成する。

【００４９】

マウスピース部分１６は、タバコ物品１２の上面図に対応する図３の部分Ａにも示されるコア２７を備える。コア２７は、例えば、蒸気がユーザにより吸入される前に蒸気を僅かに冷却するためのクーラとして機能するように意図され、この目的のために、例えば波形紙を含んでもよい。コア２７は、押出成形及び／又は圧延工程を介して安定した形状に形成されてもよい。コア２７は、図３の部分Ａに示すように、ラッパー２１の内部表面に完全に接触するようにマウスピース部分１６の内側に配置されて、このマウスピース部分１６の範囲を定めることが好都合である。換言すれば、マウスピース部分１６におけるラッパー２１の内部表面とコア２７との間には隙間が形成されていない。

【００５０】

本発明（図示せず）の特定の実施形態では、マウスピース部分１６は、例えば、物品軸Ｘに垂直な２つの軸に沿ったマウスピース部分１６の全周に沿って配置された複数の通気孔を定める。換言すれば、この特定の実施形態によれば、通気孔は、狭い壁１３Ａ、１３Ｂ及び広い壁１４Ａ、１４Ｂのうちの基材の各壁に配置されている。別の例によれば、通気孔は、広い壁１４Ａ、１４Ｂのみに、又は好ましくは、広い壁１４Ａ、１４Ｂのうちの一方のみに配置される。両方の例において、通気孔は、物品軸Ｘに対して垂直に、物品１２の対応する壁に又は各壁に整列されてもよく、同じ距離だけ間隔を空けて配置されることができる。通気孔は、物品１２の内側に流入する新鮮な空気が特定のベイピング／味覚効果を実現させることを可能にする。本発明の好ましい実施形態では、通気孔が設けられていない。

【００５１】

以下で更に詳細に説明するように、タバコ部分１５は加熱ブレードにより加熱されることが意図されている。タバコ物品１２の底面図に対応する図３の部分Ｃに示すように、タバコ部分１５は、上述したような気化可能材料を含む基材層３０を備える。基材層３０は、物品軸Ｘに沿ってタバコ部分１５の内側で延びており、２つの反対側の側面を形成する。具体的には、基材層３０は、その側面のうちの一方が、広い壁１４Ａに面し、この壁との間で第１の隙間３１を形成し、他方の側面が、広い壁１４Ｂに面し、この壁との間で第２の隙間３２を形成するように構成されている。換言すれば、隙間３１、３２の各々が、ラッパー２１の内部表面と基材層３０の対応する側面との間に形成される。以下で更に詳細に説明するように、隙間３１、３２の各々が、基材層３０に平行に加熱ブレードを収容するように構成されている。加えて、図３の部分Ｃに示すように、第１の隙間３１は第２の隙間３２よりも広くすることができる。具体的には、第１の隙間３１の厚さは、第２の隙間３２の厚さの１．５倍、又は２倍、又は３倍の大きさとすることができる。例えば、第１の隙間３１の厚さは０．３～０．７ｍｍを含むことができ、第２の隙間３２の厚さは０．２～０．４ｍｍを含むことができる。

【００５２】

図１を再度参照すると、エアロゾル生成デバイス１１は、デバイス軸Ｙに沿って延びるデバイス本体４０を備える。デバイス本体４０は、マウスピース４２と、デバイス軸Ｙに沿って引き続いて配置されたハウジング４４とを備える。図１の例によれば、マウスピース４２及びハウジング４４は２つの異なる部品を形成する。具体的には、この例によれば、マウスピース４２は、ハウジング４４の端部のうちの１つに形成された挿入開口部に固定されるように、又は挿入開口部内に収容されるように設計される。この場合、タバコ物

品は、マウスピース４２がハウジング４４から取り外された場合にデバイス１１内に挿入されることができる。（図示されない）他の例によれば、マウスピース４２及びハウジング４４は、１つの固有の部品を形成する。この場合、タバコ物品１２は、例えばフロー出口を介してデバイス１１内に挿入されることができる。両方の実施例によれば、マウスピース４２は、タバコ物品１２を少なくとも部分的に収容するように適合された貫通孔を定める。具体的には、図１に示すように、貫通孔は、タバコ物品１２のマウスピース部分１６の少なくとも一部を収容するように適合されることができる。

【００５３】

ハウジング４４は、デバイス１１の異なる機能を実行するように設計された様々な要素を収容するデバイス１１の内部空間の範囲を定める。この内部空間は、例えば、デバイス１１に給電するバッテリ、デバイス１１の動作を制御する制御モジュール、タバコ物品１２のタバコ部分１５を加熱する加熱チャンバ５０などを収容することができる。これらの要素のなかで加熱チャンバ５０だけが図４及び図５を参照して更に詳細に説明される。

【００５４】

具体的には、これら図面に示すように、加熱チャンバ５０は、図５の例に示すように、タバコ物品１２の少なくともタバコ部分１５、場合によっては、マウスピース部分１６の少なくとも一部を収容するように適合されたカップ形状を形成することができる。タバコ物品１２として、加熱チャンバ５０は、デバイス軸Ｙに沿って延び、デバイス軸Ｙに沿って延びる一対の平行な狭い壁５３Ａ、５３Ｂと、やはりデバイス軸Ｙに沿って延びる一対の平行な広い壁５４Ａ、５４Ｂと、これら各壁に隣接しデバイス軸Ｙに垂直に延びる底部壁５８とを備える、直方体形状を形成してもよい。したがって、底部壁５８はチャンバ５０の閉鎖端を形成する。加熱チャンバ５０は、底部壁５８の反対側に、タバコ物品１２を収容するように構成された開口部６０を定め、それにより、タバコ物品１２の対応する広い壁１４Ａ、１４Ｂは、加熱チャンバ５０の対応する広い壁５４Ａ、５４Ｂに面し、タバコ物品１２の対応する狭い壁１３Ａ、１３Ｂは、加熱チャンバ５０の対応する狭い壁５３Ａ、５３Ｂに面し、タバコ物品１２の当接端１８は、底部壁５８又は底部壁５８から延びる少なくともリブに当接する。具体的には、加熱チャンバ５０は、タバコ物品１２を２つの異なる向きで収容するように構成されている。第１の向きでは、タバコ物品１２の狭い壁１３Ａ（又は１３Ｂ）は、加熱チャンバ５０の狭い壁５３Ａ（又は５３Ｂ）に面し、タバコ物品１２の広い壁１４Ａ（又は１４Ｂ）は、加熱チャンバ５０の広い壁５４Ａ（又は５４Ｂ）に面する。第２の向きでは、タバコ物品１２の狭い壁１３Ａ（又は１３Ｂ）は、加熱チャンバ５０の狭い壁５３Ｂ（又は５３Ａ）に面し、タバコ物品１２の広い壁１４Ａ（又は１４Ｂ）は、加熱チャンバ５０の広い壁５４Ｂ（又は５４Ａ）に面する。両方の向きにおいて、向き合う広い壁１４Ａ、１４Ｂ、５４Ａ、５４Ｂ、及び向き合う狭い壁１３Ａ、１３Ｂ、５３Ａ、５３Ｂは、互いに接触することができる、又は互いに間隔を空けていることができる。

【００５５】

第１の向き及び第２の向きは、例えば、タバコ物品１２の挿入中にユーザにより、及び／又はデバイス１１を使用して、例えばラッパー２１上の特別なマーク又はシンボルと、デバイス１１のハウジング４４又はマウスピース４２とを比較することにより決定されてもよい。

【００５６】

加熱チャンバ５０は、デバイス軸Ｙに沿って底部壁５８から延びる加熱ブレード６２を更に備える。例えば、加熱ブレード６２は、デバイス軸Ｙに沿って、加熱チャンバ５０の全長の少なくとも１／２、有利には３／４に沿って延びることができる。図４の部分Ｂに示すように、加熱ブレード６２は、加熱チャンバ５０の広い壁５４Ａ、５４Ｂまでの等しくない距離を有して配置されることができる。例えば、加熱ブレード６２は、加熱チャンバの広い壁５４Ａと、広い壁５４Ａ、５４Ｂの間の中間距離に配置された平面との間に延びることができる。換言すれば、加熱ブレード６２は、広い壁５４Ｂによりも、広い壁５４Ａにより接近して配置されることができる。この構成により、加熱ブレード６２を加熱

チャンバ５０内に挿入している間に、加熱ブレード６２の向きに応じて、加熱ブレード６２がタバコ物品１２の隙間３１、３２のうちの１つに収容されることが可能になる。具体的には、タバコ物品１２が、第１の向きに従って加熱チャンバ５０内に収容される場合（すなわち、物品１２の広い壁１４Ａがチャンバ５０の広い壁５４Ａに面する場合）、加熱ブレード６２の構成によって、第２の隙間３２よりも広い第１の隙間３１内への加熱ブレード６２の収容が可能になる。加熱ブレード６２及びタバコ物品１２のこのそれぞれの位置が図５の部分Ａに示される。タバコ物品１２が、第２の向きに従って加熱チャンバ５０内に収容される場合（すなわち、物品１２の広い壁１４Ｂがチャンバ５０の広い壁５４Ａに面する場合）、加熱ブレード６２の構成によって、第１の隙間３１よりも厚い第２の隙間３２内への加熱ブレード６２の収容が可能になる。加熱ブレード６２及びタバコ物品１２のこのそれぞれの位置が図５の部分Ｂに示される。

【００５７】

加熱ブレード６２は、２つの反対側の側面を形成し、側面のうちの一方に配置された加熱要素６４を備える。具体的には、図４の部分Ｂに示すように、加熱要素６４は、加熱チャンバ５０の広い壁５４Ｂに面するように配置される。換言すれば、加熱要素６４は、加熱ブレード６２と加熱チャンバ５０の対応する広い壁との間に形成される容積に面するように構成され、この容積は、加熱ブレード６２と加熱チャンバ５０の他の広い壁との間に形成される容積よりも大きい。したがって、タバコ物品１２の第１の向きでは、加熱要素６４は基材層３０から間隔を空けて配置されて、この基材層３０を対流により加熱するように構成され（図５の部分Ａ）、タバコ物品１２の第２の向きでは、加熱要素６４は基材層３０に接触して、この基材層３０を伝導により加熱するように構成される（図５の部分Ｂ）。加熱要素６４は、加熱ブレード６２の対応する側面の実質的に総領域に沿って、又は例えばこの側面の中心部分のみに沿って延びる、加熱トラック又はポリイミドフィルムヒータを形成してもよい。加熱ブレード６２は、セラミック又は金属から作製されてもよい。その厚さは、例えば０．１ｍｍ～０．５ｍｍを含むことができ、０．３ｍｍに等しいことが好都合であり得る。

【図面】

【図１】

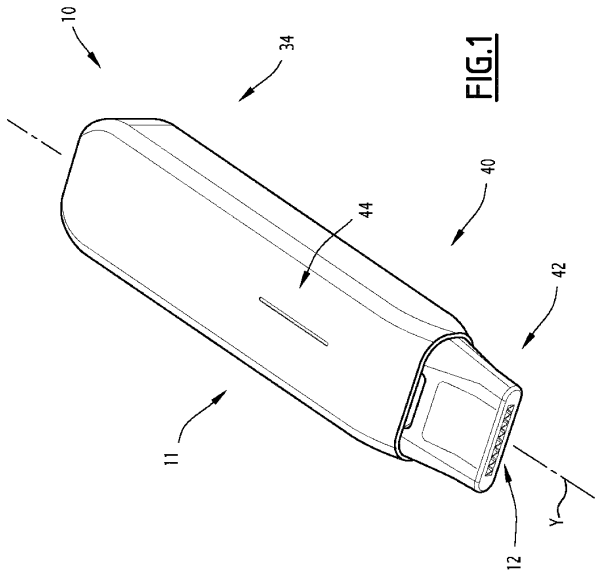


FIG.1

【図２】

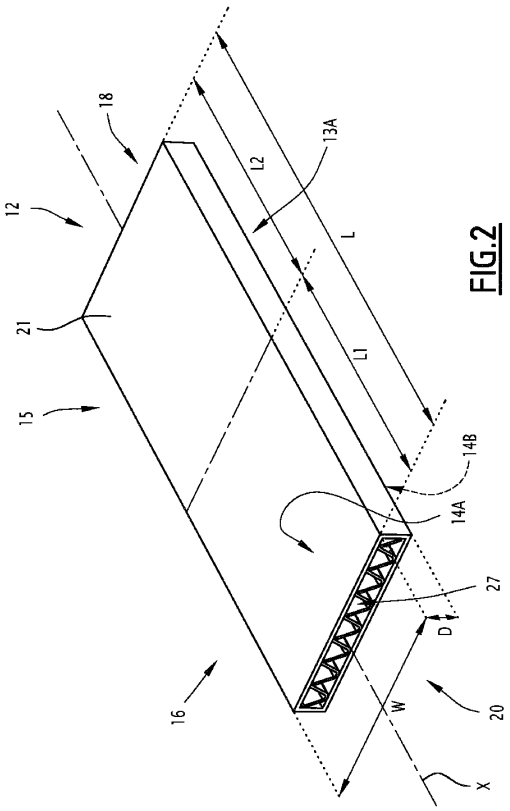


FIG.2

【図３】

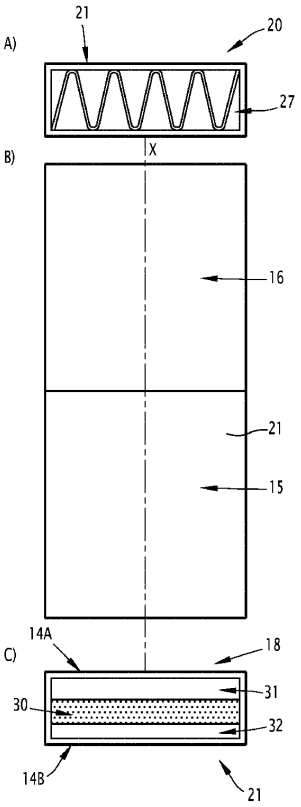
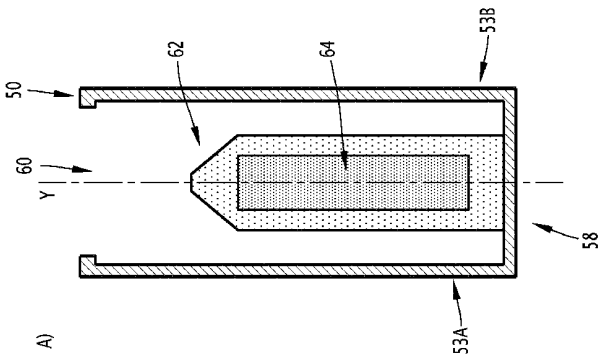
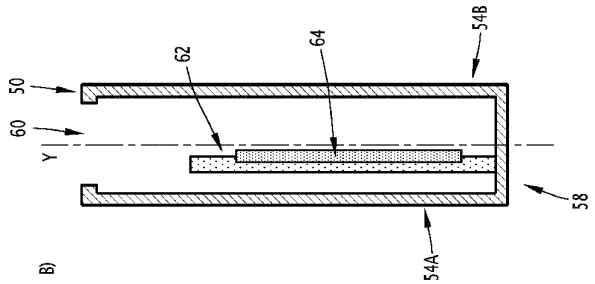


FIG.3

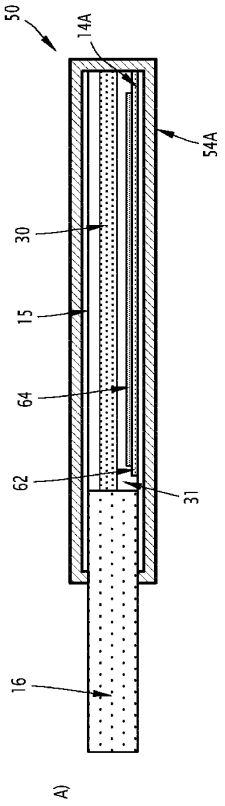
【図４Ａ）】



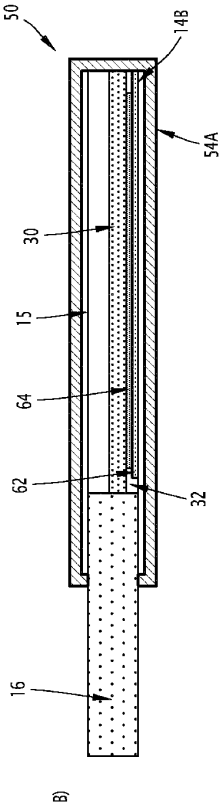
【図４Ｂ）】



【図５Ａ）】



【図５Ｂ）】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2022/073925

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
INV. A24F40/42 A24F40/46 A24D1/20
ADD.

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
A24F A24D A61M

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
EPO-Internal, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 2020/239599 A1 (JT INT SA [CH]) 3 December 2020 (2020-12-03)	1-9
A	page 11, line 11 - page 18, line 8; figures 1A-15	10-15
X	EP 3 782 492 A1 (NERUDIA LTD [GB]) 24 February 2021 (2021-02-24)	10-12
Y	paragraph [0208] - paragraph [0221];	13,14
A	figures 1-10	1-9,15
Y	WO 2013/060743 A2 (PHILIP MORRIS PROD [CH]) 2 May 2013 (2013-05-02) page 12, line 9 - line 24; figure 4	13,14
A	WO 2017/202965 A1 (PHILIP MORRIS PRODUCTS SA [CH]) 30 November 2017 (2017-11-30) figures 1-19	1-15

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance;; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance;; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
8 November 2022	22/11/2022

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Dartis, Daniel

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (April 2005)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No
PCT/EP2022/073925

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 2020239599 A1	03-12-2020	CA 3141947 A1	03-12-2020
		CN 113966175 A	21-01-2022
		EA 202193242 A1	18-03-2022
		EP 3975764 A1	06-04-2022
		JP 2022535189 A	05-08-2022
		KR 20220013383 A	04-02-2022
		TW 202102147 A	16-01-2021
		US 2022211101 A1	07-07-2022
		WO 2020239599 A1	03-12-2020
EP 3782492 A1	24-02-2021	NONE	
WO 2013060743 A2	02-05-2013	AU 2012330423 A1	29-05-2014
		BR 112014009862 A2	18-04-2017
		CA 2853569 A1	02-05-2013
		CN 104023568 A	03-09-2014
		EP 2770858 A2	03-09-2014
		ES 2637322 T3	11-10-2017
		HK 1198105 A1	13-03-2015
		JP 6184966 B2	23-08-2017
		JP 2014534813 A	25-12-2014
		KR 20140092312 A	23-07-2014
		MX 355672 B	26-04-2018
		NZ 624128 A	24-12-2014
		NZ 702192 A	25-09-2015
		PL 2770858 T3	30-11-2017
		PT 2770858 T	29-09-2017
		RU 2014121013 A	10-12-2015
		SG 11201401738U A	29-05-2014
		UA 111632 C2	25-05-2016
		US 2014301721 A1	09-10-2014
		WO 2013060743 A2	02-05-2013
		ZA 201402541 B	25-11-2015
WO 2017202965 A1	30-11-2017	CA 3025062 A1	30-11-2017
		CN 109152896 A	04-01-2019
		EP 3463530 A1	10-04-2019
		IL 263122 A	31-12-2018
		JP 7005522 B2	21-01-2022
		JP 2019519224 A	11-07-2019
		KR 20190012188 A	08-02-2019
		RU 2018143530 A	25-06-2020
		US 2020221767 A1	16-07-2020
		WO 2017202965 A1	30-11-2017

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (April 2005)

フロントページの続き

MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CV,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IQ,IR,IS,IT,JM,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW
ョン

イギリス国 アイヴィー３６ ２ゼットエイチ マリー， フォレス， マナチー アヴェニュー ２

Ｆターム（参考） 4B045 AA21 AB11 AB16 BC26
4B162 AA03 AA22 AB12 AC22